

平成 30 年度

学生によるオレンジリボン運動

聖学院大学 実施報告書



実施主体 ボラフェス！2018 実行委員会

実施内容 学園祭での啓発活動／子育て支援ネットワークとの共催事業

①事前に取り組んだ内容

市内の子育て支援ネットワークの方をお招きし、ボラフェス実行委員を対象とした事前学習会を実施した。

同団体が作成した、「子育てサロンが生まれる日」というドキュメンタリー映像を視聴させていただき、子育てをしているお母さまたちのリアルな現状を知る機会を設けた。

この事前学習会での学びを踏まえ、学園祭当日の掲示内容を検討した結果、映像を見た感想やオレンジリボンの啓発に関する掲示物に加え、「支えてくれたあなたへ」と題し、来場者参加型のメッセージボードを作成することになった。

映像の視聴を通して学びを深めていく中で、「虐待は絶対にいけないことだと思うが、誰にも頼れず、孤独感を感じながら虐待一步手前の精神状態で子育てを頑張っている保護者もいることを知った。来場された皆さんが、自分を支えてくれた人のことを思い出し、メッセージを書くことで“自分は一人ではない”と思ってもらえるような、優しい展示をしたい。」という意見があり、それを実現すべく、掲示物の制作に取り掛かった。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

主に、以下の3つの企画を中心に実施した。

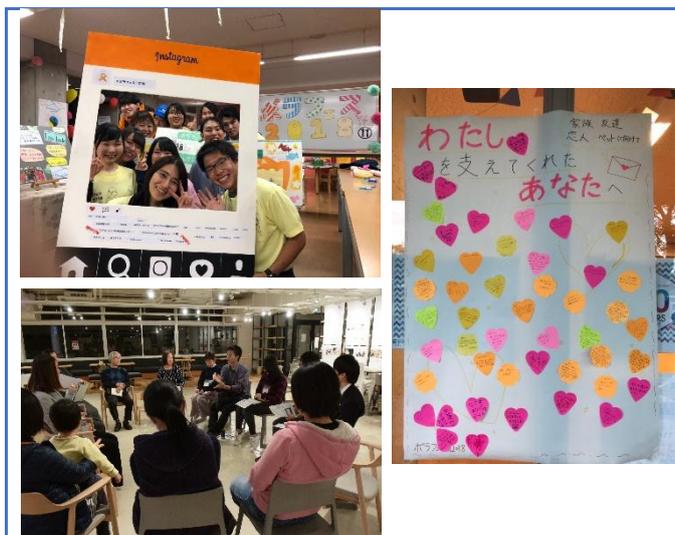
- ① 事前学習会（協力：市内の子育て支援ネットワークの方々）
- ② 本学の学園祭時に、オレンジリボン運動の啓発活動に合わせて映像を視聴した感想や、「私を支えてくれたあなたへ」という来場者参加型のメッセージボードを掲示し、自由にメッセージを書いてもらった。
- ③ 事後の取り組みとして、市内の子育て支援ネットワークに参加されているお母さま方をお招きし、「子育てサロンが生まれる日～合同上映会&交流会～」を開催した。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

今年は例年行ってきた啓発活動に加え、市内のお母さま達にご協力頂けたことで、子育てのリアルな現状を知ることができた。

育児を懸命に取り組むお母さま達と学生とのシェアリングの時間では、互いに涙を流しながら本音で語り合い、癒しの時間がもてたことは大変有意義であった。

今後も、虐待のない社会の実現に向けて、虐待防止を訴えるだけでなく、こどもに関わる人々の背景や現状を知り、時には寄り添う気持ちも忘れずに、この取り組みを継続していきたい。



【聖学院大学】 <http://www.seigakuin.jp>